

# Kai Higashiyama

- 1908年 7月8日、船具商を営む東山浩介、くにの次男(新吉)として横浜市に生まれる
- 1911年 3歳の時に一家で神戸に移住
- 1926年 東京美術学校日本画科に入学
- 1929年 第10回帝展に「山國の秋」が初入選
- 1931年 東京美術学校研究科に進み、結城素明に師事  
雅号を「魁夷」とし、同窓生と研究グループ「六篠社」を結成
- 1933年 研究科修了後、ベルリン大学外国人語学部に留学
- 1934年 3月、ヨーロッパを周遊  
11月、第1回日独文化交流学生に選ばれ、ベルリン大学哲学科美術史部に入学
- 1935年 父危篤の報にて帰国
- 1937年 結城素明らを同人に「大日美術院」が創立され、その第1回展に出品  
11月に初の個展開催
- 1939年 日本画院第1回展に「冬日(3部作)」を出品、日本画院賞第一席受賞
- 1940年 11月、川崎小虎の長女すみと結婚
- 1943年 中国を旅行
- 1945年 招集を受け熊本に配属  
敗戦後12月、千葉県市川市に移住
- 1947年 第3回日展で「残照」(東京国立近代美術館蔵)が特選を得る
- 1956年 「光昏」(日本芸術院蔵)により日本芸術院賞を受賞
- 1960年 宮内庁から依頼されていた東宮御所の壁画「日月四季図」が完成
- 1961年 宮内庁からの依頼にて「萬緑新」を制作
- 1962年 北欧を周遊
- 1965年 日本芸術院会員に任命、日展理事に就任
- 1968年 皇居新宮殿壁画「朝明けの潮」完成
- 1969年 毎日芸術大賞受賞、文化勲章受賞とともに、文化功労者となる
- 1974年 日展理事長となる
- 1975年 唐招提寺障壁画「山雲」「濤声」完成
- 1976年 西ドイツ大統領より功労大十字勲章を授与
- 1980年 唐招提寺壁画障壁画「黄山暁雲」「揚州薰風」「桂林月宵」が完成
- 1984年 4月、日展顧問に就任  
6月、西ドイツのプール・ル・メリット学術・芸術院の外国人会員に選任
- 1986年 第18回日展に「溪音」を出品、日本芸術院第一部長に選任(～1989年)
- 1987年 作者所蔵の自作品を一括して長野県に寄贈することを決定
- 1989年 ベルリン・ハンブルグ・ウィーンで展覧会
- 1990年 大嘗祭の大餐の儀に使用された「悠紀地方屏風」制作  
長野県信濃美術館・東山魁夷館開館
- 1992年 ユネスコ芸術賞の創設に対する貢献により、ユネスコ・ピカソ金メダルを贈られる
- 1999年 5月6日、東京にて逝去(享年90歳)  
従三位、勲一等瑞宝章を贈られる
- 2005年 香川県立東山魁夷せとうち美術館(4月)、市川市東山魁夷記念館(11月)が開館
- 2008年 国立近代美術館にて大回顧展「生誕100年 東山魁夷展」が開催される